

## 清川村立清川幼稚園

研究テーマ：主体的に生きる力を身に付けるために  
～やってみよう！伝えよう！一人ひとりが輝く清川っ子～

### 1 実践の目的

今年度は、異年齢の関わり合いの中で、目的に向かって取り組む力、自ら考え行動する力、友達と互いの考えや思いを伝え合う力の育成を目指し、「みんなでやると楽しいね！」と、様々なことに夢中になれる環境の構成や保育の工夫を探るために研究を進めた。

#### (1) 環境を通した保育活動の充実

遊びや活動、日常生活を通して一人ひとりの良さを引き出し、興味関心を大切にしながら、更に「やってみよう！」とチャレンジすることで得られる成功体験を積み重ねていき、自己肯定感を育む保育を目指した。

#### (2) 子育て支援

親子でふれあい、一緒に体を動かしながら「楽しい」を共有することで親子の関係を深め、幼稚園や地域を通して、保護者同士が互いに尊重し、交流を深められる保育を目指して取り組んだ。

### 2 実践の内容

#### (1) 環境を通した保育活動の充実

##### ①一人ひとりが自己発揮できる保育を ～みんなのこころをひとつに～

1年の集大成である発表の場『みんなのつどい』。今年は年間の活動テーマである“ジャングル”を基にした劇を発表した。全園児が4つのグループに分かれ、年長児が各グループの隊長になって様々なチャレンジに挑戦するという内容であった。毎日一緒に生活している仲間ではあるが、年長児がリーダーになって活動することが初めてだったため、「どうしたらいいんだろう」

「できるかな…」と不安そうであった。練習を積み重ねていくうちに、自分たちが隊長としてお手本となること、探検隊として思いきり楽しむことがみんなの見本になることに気が付き、年長児が頑張る姿を見て、年中、年少児も「自分も頑張る」と気持ちを高めていくことができた。本番では、互いを尊重し合いながら、発表することができた。劇の中で5名の年長児が獲得した“勇氣”“チャレンジ”“仲間”“優しさ”“自信”の5つのバッジに、一人ひとりが大きな達成感を得ることで、更なる自信に繋がった。



#### ②職員研修

以前訪問研修させていただいた山北町から、こども教育課、幼稚園、保育園、こども園の先生方にお越しいただき、公開保育を行った。一人ひとりが他者と関わりながら自分の力を発揮していくための保育の工夫など、各園の取組や情報交換を行い、学びを深めることができた。また、清川幼稚園から松田町立寄幼稚園へ訪問研修を行い、保育参観をさせていただいた。園児がのびのびと自分のやりたいことに集中できる保育や、先生方の園児への寄り添い方等、園児一人ひとりが自己発揮しやすい環境づくり等を学ぶ機会となった。

山北幼稚園、寄幼稚園共に縦割り保育、少人数保育をされていることから、とても学びの多い研修となった。



山北町の先生方  
と記念撮影

寄幼稚園の研究  
発表を聞かせて  
いただきました



## (2) 子育て支援

～親子の絆を深めるふれあい遊び～

『有限会社きのいい羊たち』の磯谷仁先生にお越しいただき、親子でふれあいながら一緒に「楽しい」を共有することができた。身近なものを使った遊び、体をつかった遊び等、家庭でも親子で元気に体を動かし、親子の絆を深める楽しい時間のヒントとなる活動へ繋げることができた。



講演テーマ  
『親子の絆を深める  
ふれあい遊び』



## 3 実践の成果と課題

異年齢での生活が定着しており、近年の幼稚園生活の土台となってきている。年度が変わっても友達関係に大きな変化はないが、新しく入園した友達との関わり合いを通して、「相手の思いを知ろうとする」姿が様々な場面で見られるようになっていった。

相手が何を求めているのか、何を伝えようとしているのかを教師や友達に相談したり、互いに伝え合ったりしながら、“目に見えるものが全てではない”ことを関わり合いの中から学ぶことができた。また、教師を頼りにすることが多かった園児も、教師の話や周りの友達との関わる姿を見て「やってみようかな」とチャレンジする気持ちを持ち、「こうしてみるのはどう？」と周りに自分の気持ちも話せるようになり、園児自ら主体的に活動し「やってみたらできた！」の成功体験を積み重ねていくことができた。教師が、園児一人ひとりの育ちや良さを認め合える環境を意識し、自己発揮に繋げ、自己肯定感を高め、自信に繋げていくことが何より大切であると感じた。



年齢関係なく  
協力し合い、尊重  
し合える仲間



## 4 今後の展開

園児数の減少は今後も課題となり、極小規模園になっていくことを鑑みると、来年度以降も異年齢での生活を基盤としながら村内にある沢山の環境を生かして体験活動の充実を図り、「嬉しい」「頑張った良かった」という経験を積み重ねていきたい。また、園児一人ひとりの興味や関心を広げ、ドキドキワクワクしながら幼稚園生活を過ごせる保育の工夫、「人の役に立つことの喜びや嬉しさ」「やったらできた！」の成功体験を積み重ねていき、主体的に楽しみながら学び続ける環境づくりに努めていきたい。